

教育と福祉の連携に関する課題について

【現状と課題】

- ・教育と福祉の連携が十分にできていないが、具体的な解決策や必要な提案が行えていない。
(市地域自立支援協議会提出票 市課題整理ワーキング、平成 29 年 11 月 6 日を一部改変)
- ・教育と福祉の相互理解が必要。
- ・ライフステージごとや教育から福祉に引き継がれるときに情報が伝わらない。成育歴から同じ話を何度もしなければならない。
- ・支援機関同士の連携を強化し、支援に切れ間を生じさせない仕組みづくりが必要である。
(第 4 次かわさきノーマライゼーションプラン改定に対する意見について 川崎市地域自立支援協議会、平成 29 年 9 月 1 日から抜粋)

【市内での取組み例】

- ・市内の特別支援学校等の教員対象の研修会の一コマとして「学校の先生が知っていると役に立つ福祉制度」の講師を行った。
- ・小中学校向け出張相談会を行い、障害福祉制度やサービスについて説明した。
- ・区地域自立支援協議会の児童委員会に、近隣の養護学校、療育センターの代表者が参画している。

【協議していただきたい点】

- 1 ライフステージごとに途切れない相談支援体制にするために、相談支援従事者ができることは何か？
- 2 所属や分野を超えた連携をするために、相談支援従事者ができることは何か？
どうすれば異なる分野・多くの機関と円滑に連携できるようになるか？